

○事業所名	キッズルームひまわり		
○保護者評価実施期間	令和8年1月19日		～ 令和8年2月6日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	31名	(回答者数) 25名
○従業者評価実施期間	令和7年1月19日		～ 令和8年2月6日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	23名	(回答者数) 22名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月17日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・お子さん一人ひとりの発達に合わせた支援	・同じ活動においても、お子さんたち一人ひとりに合った内容を検討し実行している。 ・保護者からニーズの聞き取りを行う中で、お子さん一人ひとりの発達段階を踏まえたくて、目標に向けた現段階での支援を検討、実施している。 ・いろいろな経験ができるよう活動プログラムを行えるようにするとともに、継続することも意識して支援を行っている。	・職員が研修などをとおして、自己研鑽に励みながら、お子さんたち一人ひとりの発達段階や発達の過程、特性等に応じた支援をしていく。
2	・保護者とのこまめな連絡	・連絡帳でのやりとり、電話や個別懇談を行う中で、ひまわりの様子を伝えるだけでなく、家庭での様子や、保護者の悩みを聞きながら、こまめに情報共有できるようにしている。 ・年間で予定されているものだけでなく、お子さんの様子や保護者の希望にあわせて、柔軟に個別懇談の機会をつくっている。	・個別でのやりとりや保護者向け研修、クラス懇談会などを継続する中で、保護者同士の交流の場となるような方法を工夫していく。
3	・お子さん一人ひとりに合わせた、適切な個別支援計画の作成	・ガイドラインにおける4つの役割とともに、本人支援については5領域の支援から作成し、実施している。また、保護者との懇談の中で、個々のニーズを聞き取るとともに、優先順位なども一緒に検討しながら、その目標に向けた計画の作成に取り組んでいる。	・今後も、日々の療育の中でのお子さんの様子や、保護者とのやりとりの中で、お子さんたちの様子を把握していくとともに、計画の見直しも行いながら、お子さんにあった計画の作成、支援を行っていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・きょうだい向けの支援	・現在、夏休みの時期に、小学生以上のきょうだいがいるご家庭に対し、個々でお声をかけさせていただき、ご希望があれば、午後の1時間程見学をしていただいたことはあるが、イベントとして行う場合、内容の検討の不十分さ、時期の選定、場所の確保など体制が十分に整っていない。	・今後も、学校の長期休みの時期に、きょうだいの療育参加など行いながら、キッズルームについて知ってもらうことから始めていく。 ・キッズルームに通っているお子さんだけでなく、ごきょうだいについての相談、支援なども引き続き行っていくとともに、きょうだい児についての研修なども検討していく。 ・こすもす(親子通園クラス)とも連携をとりながら、きょうだい向けのイベントなどを検討していく。
2	・保護者同士の交流の場の設定	・保護者研修や、クラス療育参加、クラス懇談会、保護者全体会など、保護者の集まる機会は設定しているが、保護者の皆様の交流に結びつきの難しい。	・現在のクラス懇談会や保護者全体会等以外にも、保護者室を利用しての交流の場づくりも検討していく。 ・クラス懇談会の内容や取り組み方(懇談会の途中から2クラス合同に行う等)について検討していく。
3	・地域との交流	・保育所や認定こども園、幼稚園等との交流では、それぞれでの調整が必要となるための難しさがある。	・ひまわりのお子さんたちの様子や、近隣の保育所、幼稚園の状況も踏まえながら、検討していく。また、近隣の公園などで、地域のお子さんたちと一緒に遊ぶ機会をつくっていくことから、地域の方との交流を始めていく。